



いつ起こるか分からない災害は、行政だけでは十分に対応できません。いざという時のために、皆さん一人ひとりの日ごろからの心構えが大切です。このコーナーでは、災害時に役立つ情報や対策などをご紹介します。

できることから地震対策を！ 家族みんなで話し合い（家庭内の役割分担）

地震対策と言えば、とかくハード面の備えが取りざたされますが、今回はソフト面で重要な「家族そろっての防災会議」についてお話しします。地震が起きたら、私たちはどんな問題に直面するでしょうか。頭の中でシミュレーションしてみましょ。誰が何をやるの？「家族が離れ離れになったら？」「どこに集合するの？」。これらのことをあらかじめ

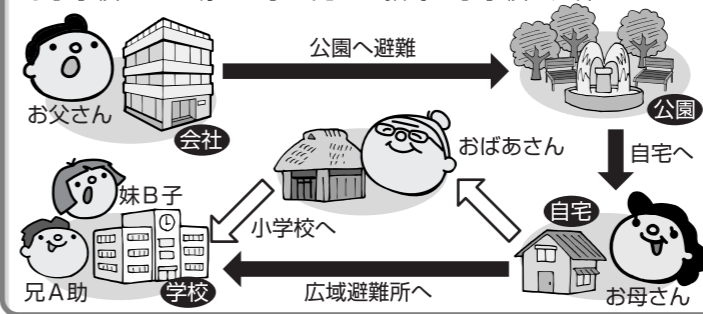
決めておけば、慌てることもなく行動できるのではないのでしょうか。いざという時、一人では多くのことはできません。また、計画した以上のことはできないものです。パニックに陥ることなく落ち着いて行動できるように、一人ひとりの担当やいろんな状況を想定した行動計画をたてておきましょう。その第一歩が「家族そろっての防災会議」です。

◆普段から家族の役割を決め、点検しましょう。

- お母さん 台所、風呂場、暖房器具等の安全点検
- 妹B子 非常持出品の点検と補充
- 兄A助 窓ガラス等の飛散防止点検
- お母さん 出入り口までの脱出経路の点検
- お父さん タンス、本棚、食器棚等家具の転倒防止
- お父さん 食料飲料水の点検（3日分）

◆行動表を作成しましょう。

●(例)もし日中に地震が起ったら
お父さんは会社から〇〇公園へ避難、揺れがおさまったら家に帰り、広域避難所の〇〇小学校へ避難。お母さんはまず非常持出品をもっておばあさんの家へ、次におばあさんをつれて〇〇小学校へ。A助とB子は先生の指導で小学校で避難。



今月の火災・救急・救助件数

平成19年1月分 ()内は年累計

▼火災	建物火災/1(1)	車両火災/0(0)	その他火災/1(1)	
▼救急	交通事故/14(14)	一般負傷/35(35)	急病/94(94)	その他/23(23)
▼救助	火災/1(1)	交通事故/1(1)	水難事故/0(0)	その他/1(0)

消火栓や防火水槽は、消火活動に欠かせないので「水」を供給する大切な設備です。消防本部では定期的な調査や点検・整備を行っています。その時に「もしこれが、火災発生時だったら…」緊急時に使用する消防水利用が、有事の際に使えなければ意味がありません。「ちよつとだけなら…」と軽い気持ちでの駐車が、一刻を争う消火活動を妨げ、惨事を招く恐れがあります。皆様のご理解とご協力をお願いします。
※道路交通法において消防水または消防施設等から5メートル以内は駐車できないこととなっています。

119番で消防
消火栓・防火水槽の付近は駐車禁止!!

3月15日号
平成19年



2/16 金

80年前の古写真を手に「ぶしぎ」を調査！成果をまとめカルタに！「今昔カルタ」完成記念カルタ大会（マキノ東小学校にて）



2/17 土

高島市のまちづくりを支える市民活動や協働を考える「市民協働フォーラム」（地場産しんあさひにて）



3000株を超えるざぜん草とたくさんのお店がお出迎え「ざぜん草ウォーク」と「ざぜん草まつり」（今津町弘川にて）

2/25 日

CONTENTS 目次

タウントップピクス	2~7	文化情報	11
介護予防	8	防災情報	12
情報お知らせ版	9・10	消防からのお知らせ	12

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地 電話0740-25-8130
高島市ホームページ http://www.city.takashima.shiga.jp
高島市メールアドレス t-info@city.takashima.shiga.jp



広報たかしま 2007.3.15発行 Takashima 2007 March 15 No.39